

「火の用心だより」

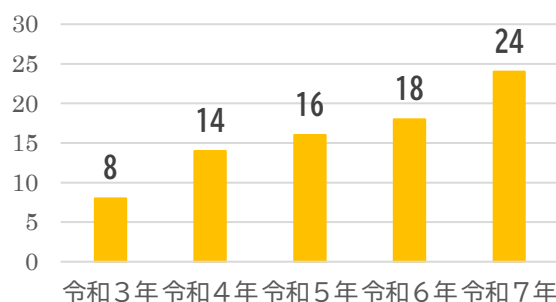
第128号 (令和7年11月号)

発行：札幌市消防局予防部予防課

充電式電池の火災が急増中！

近年、電気火災が全国的に増加しており、その中でも充電式電池からの出火が急増しています。札幌市でも、充電式電池からの出火件数は年々増加しており、昨年は18件、今年は9月末までの間で24件発生しています。

充電式電池からの出火件数



生活に欠かせない充電式電池

充電式電池は、現代社会においてなくてはならない存在となっています。スマートフォンやノートパソコンといったモバイル機器をはじめ、コードレス掃除機や電動工具など私たちの生活のあらゆる場面で活用されています。

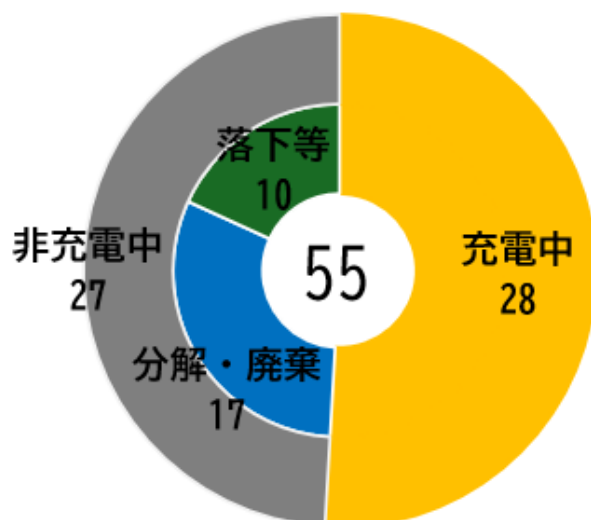
充電式電池の多くはリチウムイオン電池と呼ばれ、何度も繰り返し充電・放電ができる電池で、小型で軽量ながら大容量の電力を蓄えることができます。

【充電式電池が搭載されている製品例】



出火原因について

令和5年以降に充電式電池からの火災は55件発生しており、そのうち28件が充電中に出火しています。また、分解して傷つけたり、廃棄されてごみ収集車の中で潰れて出火したのが17件。さらに、落として変形等が10件となっています。



充電式電池の火災を防ぐために



- ・連絡先が分かるメーカーや販売店から購入する。
- ・使用する前に取扱説明書を確認する。
- ・メーカーが指定する充電器やバッテリーを使用する。
- ・強い衝撃を与えない。変形・膨張・異常過熱等したら使用をやめ、メーカーや販売店に相談する。
- ・真夏の車内など熱のこもりやすい場所に放置しない。
- ・充電中の出火が多いため、充電中は時々様子を確認し、発煙・膨張・異常過熱等の異常を感じたらすぐに充電を中止する。充電完了後は長時間プラグを差したままにしない。
- ・万が一発火した場合は、消火器や大量の水で消火し、避難を優先して119番通報する。

廃棄方法について

リチウムイオン蓄電池が不適切に廃棄されたことにより、ごみ収集車から出火するケースが相次いでいますので正しく廃棄しましょう。



荷箱内でリチウムイオン電池が押し潰されて出火



荷箱から発見された焼けたリチウムイオン電池

リチウムイオン電池の回収場所について



リサイクルマークがあるものは一般社団法人J B R C回収協力店へ

https://www.jbric.com/general/recycle_kensaku/



リサイクルマーク



回収協力店



回収場所一覧

破損・膨張・液漏れしたもの、リサイクルマークが無いものは回収場所一覧へ

<https://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/documents/kaisyubasyo250401.pdf>

詳細につきましては札幌市環境局のホームページをご確認ください。

https://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/plastic_separate.html



札幌市環境局HP

市民が主役の火災予防

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ① 火災予防行事・活動に参加しよう | ④ 防災品を使用しよう |
| ② 火災予防の知識・行動要領を身につけよう | ⑤ 放火されない環境をつくりましょ |
| ③ 消火器などの防災機器を備えよう | ⑥ 火災から高齢の方などを守りまし |

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

TEL011-215-2040

SAPPORO